

おうちで作成 ネットで申告



「税に関する高校生の作文」 福岡国税局長賞

税は国民の株式投資

長崎県立 奈留高等学校

一年

松村 慶汰

私の将来の夢は投資家になることである。投資家と言えば、株や企業に出資して利益を得る職業、というイメージを持っている人も多いと思う。しかし私にとって投資とは、単に利潤を追究して出資する行為ではなく、「信頼と期待を元に、お金を未来に生かすこと」だと考えている。

そもそもお金は使わないと価値は生まれず、持っているだけではただの紙切れにしか過ぎない。それを何にどう使うかによって、ただの紙切れに新たな価値が生まれるのである。こう考えるとすれば、私達国民が払っている税金も、いわゆる「投資」と言えるのではないだろうか。

私達の普段の生活の中には多くのサービスがある。そしてその多くが、税金によって成り立っている。例えば、私が毎日通っている学校もそうだ。授業を受ける教室、自分達の机や椅子、近年ではほぼ必須の教材となったパソコンやタブレットなど、そして学校だけでなく体育館や図書館もそうである。税金を払うことが投資と同じならば、教育は「未来の人材を育てるための投資」と言える。国が教育に税金を投じることで、私を含めた若い世代が、知識や技能を学び、将来の社会で活躍する人材へとなっていくのである。

もっと身近な例を挙げると、百円均一ショップだ。あの店で百円の消費しゴムを買えば百十円になる。消費税で十パーセントも取られるなら、

十万円 of 財布を買えば、消費税だけで一万円も払わなければならない。

しかし、消費税で払ったその十円が、その一万円が積み重なって、インフラ整備や、自分達の教育に使われていると思うと、「百円ショップって消費税を払わないといけないから、実際には百十円ショップの方が正しいのか。なんだか語呂が悪いなあ。」なんていう気持ちも薄れる。それどころか、自分のする買い物で国民全員が、安心安全な生活を支える力になっていると思えば、自分のことが誇らしく思えてくる。

投資には常に「リスク」と「リターン」がつきものである。投資家は、自分が投じたお金が将来どう増えるか、あるいは減ってしまうかを常に考える。同様に税金も、使い道次第で結果が変わる。教育や医療に正しく出資すれば、将来の社会は発展する。しかし、無駄な使い方をすれば、税のリターンは小さくなってしまふ。だからこそ、国が税をどう使うのかを国民一人一人が関心を持ち、各々の意見を持つことが大切だと思う。

私は現在進行形で、投資について学んでいる。お金の動きを捉えることはとても難しいことだ。しかし私は、ただ利益を求めめるのではなく、「社会にとって意味のある投資」ができる投資家になりたい。国の税金も、未来の人々にとって価値のあるものに投資されて意義が生まれる。私は、税を単なる、「取られるお金」と考えていない。消費税も所得税も法人税も、すべての税が、豊かな未来を創るための、一株であると考えている。